

# 中平穂積写真展

JAZZ GIANTS 1961-2013



会場：ギャラリー イー・エム 西麻布 / 会期：2018年5月29日(火)～6月16日(土) / 時間：12:00～18:00(日・月曜日休館) 入場無料  
住所：東京都港区西麻布4-17-10 / 電話：03-3407-5075

## 作品内容：私とジャズ

初めてカメラを手にしたのは中学生の頃、父に貰ったコダックのおモチャの様なカメラだった。高校時代、写真部に入り写真に興味を持ち、下宿していた叔父の影響で毎週映画を観ていた。そして「グレン・ミラー物語」に出会い、ジャズを聴く様になった。大学入学で上京してジャズ喫茶を知り、学生時代はジャズ喫茶、映画、寄席通いの毎日だった。どうしてもジャズ喫茶をやってみたくて、ジャズ喫茶通いの頃にお声をかけてくださった植草甚一先生に相談したところ「素人は手を出すものではありません」と、反対されたが諦められず、父の援助で1961年11月、新宿の今のスタジオアルタ通りのビルの3階にDIGを開店した。この我が儘を聴いてくれた父には感謝している。開店後、植草甚一先生は毎日の様にお越しくださり、何かとご心配をいただいた。この年の1月、アートプレイキー&ザ・ジャズ・メッセンジャーズが初来日。この時の撮影が私のジャズフォトのスタートとなった。初日、緞帳が上がった時は、感動で涙が止まらず、手が震えて写真を撮れないほどだった。1966年に初めて「ニューポート・ジャズ祭」取材。ジョン・コルトレーンの演奏に衝撃を受けた。ミュージシャンの写真は、親しくなればなるほどカメラを向けにくくなり、数々の名場面でシャッターを切れないことも多かった。今は60年代70年代親しくしていただいたジャズ・ジャイアンツの方々もほとんど亡くなられ、カメラを持つ手も重く感じている。ジャズフォトを始めて53年余。今回は1963年のセロニアス・モンク初来日の際に撮った渋谷のDIGでの写真・そして1964年、マイルス・デイビス来日の時に初めて来日したウィントン・ケリーとポール・チェンバース、それから八木正夫トリオ&渡辺貞夫、宮沢昭らの写真も加えることが出来たことで、私のジャズフォトの集大成とさせていただきます。